子どもや若者のあしたへ。希望の橋を懸けたい。まず、小さな白熱教室から。

答えは対話の中に

教育あしたへ 1

教えずに教える

意見を発表する貴船小6年1組の子どもたち。菊池省三先生は後ろで見守っていた＝昨年12月3日、北九州市小倉北区、相場郁朗撮影

6年1組の国語の授業。黒板に、暗号のような式が書かれた＝右下。

話し合いの図だ。子どもが、すぐに意味を解説する。

「話し合いは考えを増やします。三つずつ考えを持った人同士が話し合うと、考えは六つ以上に増えていきます」

北九州市立貴船小学校。担任の菊池省三先生(51)は、子ども同士の意見のキャッチボールで、どの子にも自信をつけさせる「カリスマ教師」だ。毎週のように参観者が訪れ、講演依頼も絶えない。

十数年前、崩壊した学級を受け持った。「こう言ったらどう思われるか」。子どもたちは周りの反応を怖がり、思いを口にできない。

まずスピーチを採り入れ、考えを持つ大切さと、伝える手法を教えた。次は、ディベート。賛否の立場を決め、意見をぶつけあう訓練だ。

だが、「社会で生き抜くためには何か足りない」と思い始めた。言いっぱなしのスピーチでも、言い合いのディベートでもない。相手の意見に耳を傾け、自分のなかで消化し、新たな意見を投げかける。その繰り返しが、みんなを高め、よい人間関係につながることを伝えたい――。行き着いたのが、この授業だ。

この日は、原爆ドームの歴史をつづった説明文「平和のとりでを築く」を読む授業だった。全文で13段落ある。

「筆者が一番主張したい段落はどこでしょう」

黒板に1～13の数字が書かれると、子どもたちが一斉に黒板にかけ寄った。自分の似顔絵カードを番号の下には り、意見を表明するのだ。

次は、同じ段落の答えの子同士が教室の隅に集まり、理由を言い始める。

5分後、今度は違う段落の意見の子と話す。しばらくすると「意見を変えた！」という声があちこちで上がった。

最後は、机を教室の真ん中に向けての全体討議だ。

「核兵器を使わないでと言っているから12段落でしょ」

「では、11段落で、平和を求める気持ちを書いているのは、どう見るんですか？」

「11段落の平和も、12段落の核兵器も大切だけど、もっと大切なのは、13段落の、人の心の中に平和のとりでを築くことだと思う」

一人ひとりの声が重なり、ふくらみ、響き合い、みんなの学びとなって対話が自転していく。先生は腕組みをし、うなずいているだけだ。

教師の「教え込み」から、子ども同士の「対話」へ。その先に広がるのは、新しい価値をともに創りあげる社会という未来図だ。

「算数のカリスマ」坪田耕三先生(63)。3年前まで筑波大付属小学校で教えていた。筑波大教授になった今も毎月の勉強会には、全国から200人以上の教師が集まる。

11月、神奈川県鎌倉市の小学校で授業をした。封筒からカードを一瞬出す＝サイコロ風の一番上の図。

「●はいくつあった？」

全員が「五つ！」。

「なぜ、はっきり言える？」

「サイコロの形だから」

「四角で真ん中に点がある」

●が整列していないカードなどを見せた後、最後に数え切れない●の整列したカードを一瞬、見せた＝真ん中の図。

「25」「16」「30」

「理由はあるのかな？」

「ダイヤみたいな形で一辺が4個だから4×4で16」

「真ん中に●があったはず。5×5じゃない？」

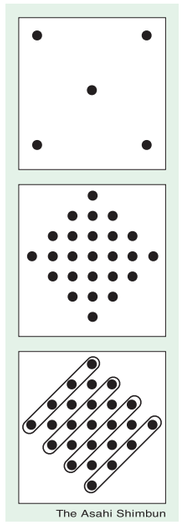
意見が出尽くすのを待ち、カードと同じ図のプリントを配った。1人の子が前に出て、●を数える数式を書く。

「4×4＝16　3×3＝9　16＋9＝25」

だが、式の説明を本人はしない。別の子が、図を描き解説する＝下の図。「違う考えがある」「同じ図でも違う式になる！」。数式と解説が、次々と教室にわきだす。

先生はどれが最もよいか言わずに授業を終えた。唯一の「正解」を求める時代は、終わったと思うからだ。

対話の授業の輪は、いま静かに広がっている。小さな白熱教室である。（宮坂麻子）



The Asahi Shimbun

2面に続く

18面に教育に関する世論調査 +a アサヒ・コムに関連動画

F15訓練一部グアムへ

日米合意　嘉手納基地の戦闘機

沖縄県の米軍嘉手納基地に所属するF15戦闘機の訓練の一部について、米領グアムに移転することで日米両政府が合意したことが防衛省への取材で分かった。騒音被害の軽減のために2007年春から、嘉手納基地から国内の自衛隊基地へ振り分けてきたF15の訓練移転先に国外を加える構想だ。在日米軍の訓練の分散移転が進む中で、国外移転は初めて。

10年5月の日米の外務・防衛担当閣僚の共同声明に「嘉手納基地の騒音軽減」と「沖縄の訓練のグアムなど国外への移転」が盛り込まれ、日米間で検討してきた。今回の合意内容は、北沢俊美防衛相が31日夜に首相公邸で菅直人首相や関係閣僚に説明した。

一方、訓練移転に伴う経費は日本側が負担することとされ、3月末で期限切れとなる在日米軍駐留経費の日本側負担（思いやり予算）の根拠になっている特別協定を改定することで対応する。1月中に前原誠司外相とルース駐日米大使が特別協定の改定案に署名する予定。菅内閣は通常国会に改定案を提出し、3月末までに承認を得たい考えだ。

合意されたのは、嘉手納基地所属のF15戦闘機部隊が沖縄周辺の訓練空域で連日実施している防空戦闘訓練の一部。同時に、空自の戦闘機部隊もグアムに派遣して共同訓練を実施する計画という。

防衛省によると、具体的な時期や規模は日米間でさらに詰めるが、11年度から実施したいという。同省幹部は「最大で、嘉手納基地にあるF15の2個飛行隊（計約50機）のうち1個飛行隊の訓練移転を目指したい」と話す。

嘉手納基地の騒音被害の軽減策としては、07年3月からF15の訓練の一部を、国内の六つの空自基地へ分散移転させたが、効果は上がっていない。（土居貴輝、鶴岡正寛）

朝日賞 3氏1団体に

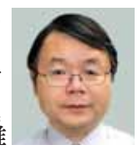
2010年度の朝日賞は次の3氏1団体に決まりました。27日に東京・日比谷の帝国ホテルで贈呈式を行い、正賞のブロンズ像と副賞（1件500万円）を贈ります。受賞者の業績と選考委員名は15面に。（敬称略、順不同）

朝日新聞文化財団

◇世界的視野に基づく創作・評論活動と文学全集の編集
作家　池澤夏樹（いけざわ なつき）

◇水俣病研究を通した学際的な「水俣学」の提唱と深化
医師　原田正純（はらだ まさずみ）

◇産官学の協力による世界初の小惑星探査往復飛行
探査機「はやぶさ」プロジェクトチーム
チーム代表＝写真
宇宙航空研究開発機構教授　川口淳一郎（かわぐちじゅんいちろう）
産業界代表
ＮＥＣ宇宙システム事業部シニアマネージャー　萩野慎二（はぎの しんじ）
学術界代表
京都大名誉教授　土屋和雄（つちや かずお）



◇透明酸化物半導体・金属の創出
東京工業大フロンティア研究センター教授　細野秀雄（ほその ひでお）

朝日スポーツ賞

2010年度の朝日スポーツ賞が決まりました。27日に朝日賞とともに贈呈式を行います。

◇サッカーのワールドカップ（W杯）南アフリカ大会で16強入り

2010ＦＩＦＡワールドカップ　日本代表チーム

※受賞チームの業績は30面に　朝日新聞社

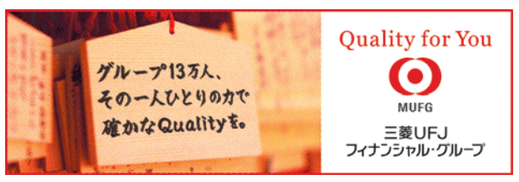
2011年（平成23年）1月1日 土曜日 元日

朝日新聞

朝日新聞東京本社　発行所：〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2　電話：03-3545-0131　www.asahi.com

天気

	6	9	12	15	18	21(時)		
東京	☀	☁	☁	☁	☁	0	9	3
横浜	☀	☀	☁	☁	☁	0	9	3
千葉	☀	☁	☁	☁	☂	0	9	4
さいたま	☀	☁	☁	☀	☂	0	8	-1
札幌	☃	☁	☁	☁	☁	30	1	-1
仙台	☁	☀	☀	☀	☂	0	5	1
名古屋	☁	☁	☁	☀	☂	10	8	2
大阪	☁	☁	☁	☁	☂	10	6	4
福岡	☀	☁	☂	☂	☂	100	7	2



孤族（こぞく）の国　介護する息子たち
年老いた親と2人だけの生活。将来が見えず、収入は年金頼み。献身的に世話をするうち、いつしか孤島のように。第6回は「息子介護」。本日から社会面で連載します。　38.39面

おくやみ　高峰秀子さん死去

「浮雲」「二十四の瞳」など数々の名作映画に主演した俳優の高峰秀子さんが、肺がんのため東京都内の病院で死去した。86歳だった。1950年代以降の日本映画黄金期を支えた。　39面

オピニオン　ニッポンをバージョンアップ
パソコンソフトのように、この国を大幅にバージョンアップしよう。橋下徹知事が「大阪都」の先に見据える政治改革案とは。人型ロボットは何を変えてくれるのか。そう、日本には他国の追随を許さない、あの分野があったのだ。　11面

ことば
「僕も机の前に座るまで長い時間がかかりますよ。ゴルフのパターの練習なんかしたりして」（働きながら小説を書きたいという人に、作家の池井戸潤さんがアドバイス）　25面

自動車　ホンダが新スポーツカー開発　9面

本日朝刊（第1部）とともに別刷りをお届けします
2011 新年別刷り
第2部　テレビ・ラジオ
第3部　スポーツ　世代別にとらえたアスリート紹介
第4部　科学　日常に潜む知恵を見つける楽しさ
第5部　3D　専用眼鏡を使うと浮き出て見える

天気は39面に掲載しました

あすの新聞は休みます

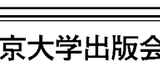
きょう元日は新聞製作を休み、2日の新聞は休刊させていただきます。最新のニュースは「アサヒ・コム」やテレビ朝日系列のＡＮＮニュースなどでどうぞ。重要ニュースは携帯メールサービス「朝日・日刊ニュースアラート」でも速報します。

国際4.6面　経済9面　オピニオン11面　声13面　スポーツ30.33.34.37面　囲碁・将棋23面　小説15面　文化23面　生活25面　地域26.27面

「しつもん」と「こたえ」を募集中　しつもん！ドラえもん　検索　http://info.asahi.com/dora1

仏教伝来の道
平山郁夫と文化財保護
東京国立博物館平成館
1月18日から開催

しつもん！ドラえもん　356　ふゆのてんき編



日本で一番早く初日の出を見ることができるのは、山の頂上や離島を除いて、どこだろう？

©Fujiko-Pro　新聞をひらいてこたえをさがしにいこう

天声人語

天気図の曲線が美しく描かれるとき、この国にきびしい寒波が来る。明けて元旦、大雪の新年をお迎えの方も多いことだろう。鉛色の空の下、帰省の道中に難渋された人は、古里の味わいもひとしおだろうと拝察する▼雪屋根の下の団欒を思う。福島県で続く児童詩誌『青い窓』に小学5年の女の子の詩が載っていた。〈あたたかいこたつ／家の家族は五人／「五角のこたつならいいなあ」／と、おねえさん／一番あとからはいる／かあちゃんは／私と同じ所／私はやっぱり／四角でもいい〉▼母さんと肩を寄せ、並んで座る幸せと安心がほのぼのと伝わる。ずいぶん前に書かれたそうだ。詩誌を主宰していた故佐藤浩さんはこの詩に触発されて、自らもこんな一行の詩をつくった。〈きゅうくつな幸せを忘れていました〉▼その「窮屈」を脱ぎ捨ててきたひずみが、この社会を苛んでいようか。家族ならぬ「孤族」という小紙連載が、いたたまれぬ人間砂漠を報じている。「孤」をのさばらせず、人肌の体温を世に取り戻す意思を、互いに持ち合いたいものだ▼人間通だった心理学者の故河合隼雄さんによれば、自立とは独りで生きることではない。まして孤立ではない。自立している人とは、適切な依存ができて、そのことをよく自覚している人なのだという▼「こたつ」の詩に例えるなら、5人用に五角形のこたつを設えて、互いが見えぬよう仕切りまで立てできた近年ではなかったか。便利と快適は幸せと同義ではあるまい。「きゅうくつな幸せ」を、新春の空に思ってみる。

<2011・1・1>

購読・配達　お申し込み0120-33-0843（7～21時）　お尋ね03-5540-7715
紙面関連（日・祝休）　ご質問03-5540-7616（1月2日まで休み、3日再開）　ご意見03-5540-7615
au携帯に情報配信　ニュースEX　新's あらたにす http://allatanys.jp

研究社 http://www.kenkyusha.co.jp/
［要点明解］アルファ英文法　宮川幸久・林龍次郎［編］
コリンズ・コウビルド英文法　ジョン・シンクレア ほか［編］　吉田正治［訳］
オックスフォード実例現代英語用法辞典［第3版］　中級以上の英語学習者の文法についての疑問に答える総合的文法書の新定番！学校文法の伝統をふまえつつ理論言語学の発展も取り入れた。九一六頁。■三六七五円
オックスフォード実例現代英語用法辞典　マイケル・スワン［著］　吉田正治［訳］　現代英語の基本的な語法・用法を六三四項目にまとめた。■五六七〇円
徹底したコーパス利用により編纂した、新しいコンセプトの英文法書。■五三五〇円
〒102-8152　千代田区富士見2-11-3　☎03-3288-7777［表示価格は税込］

誠文堂新光社
三大つるし雛と言われる雛のつるし飾り」、「傘福」、「さげもん」。その由来と作家の作品、作り方を紹介　森幸枝・下田美知子　酒田商工会議所女性会　監修　AB判・定価1680円
作って楽しむつるし雛
365日で味わう美しい日本の季語　一日一季語・日めくりカレンダーのように楽しむ珠玉の季語と意味を、その季語が使われている俳句と共に紹介　四六判・定価1890円　金子兜太　監修
東京都文京区本郷3-3-11　定価税込　TEL03-5800-5780 FAX03-5800-5781　http://www.seibundo-shinkosha.net/

日本史上の非業の英雄達と邂逅する一匹の狐
斉藤洋の白狐魔記（しらこまき）
源平の風・蒙古の波・洛中の火　定価各1365円
戦国の雲・天草の霧　定価各1575円
斉藤洋作　高畠純画　●小学校高学年から
偕成社（かいせいしゃ）
〒162-8450東京・新宿・市谷砂土原3-5　☎03-3260-3221／FAX03-3260-3222　http://www.kaiseisha.co.jp/定価税込

風間書房 http://www.kazamashobo.co.jp
障がいを理解するための絵本　平林あゆ子監修　〈絵本3冊・かいせつと利用の手引き1冊〉　三六七五円　インクルーシブ保育が拡がる中、絵本の読み聞かせを通して障がい児と健常児との相互理解が進み、保護者同士も歩み寄れる初めての絵本、遂に完成。一月二五日刊
食文化の継承意識に影響する家族関係　―正月料理の変化を通して―　塩谷幸子著　八四〇〇円　食文化の継承意識に家族関係の力学が如何に作用するのか、詳細なデータから論証。
生活分析的カウンセリング法の開発に関する研究　松原達哉著　長年の学生相談から培われた独自の理論と技法を体系化。七三五〇円
東京都千代田区神田神保町1-34税込　TEL03-3291-5729 FAX03-3291-5757

朝倉書店
◆日本人の心と魂の真髄を彩る
祭・芸能・行事大辞典　小島美子・鈴木正崇・三隅治雄・宮家準・宮田登・和崎春日監修　祭・芸能・年中行事から各種イベントに網羅した本邦初の大辞典　B5判　2528頁［上・下2分冊］　定価81900円
大江戸図鑑［武家編］　東京都江戸東京博物館監修　江戸時代の武家の社会をフルカラー・大パノラマで再現　定価25200円
歴博万華鏡（普及版）　国立歴史民俗博物館監修　歴博の収蔵品を拓る・祭る・装う・飾る・遊ぶの5部構成で展示　定価25200円
王朝文化辞典　―万葉から江戸まで―　山口明穂・鈴木日出男編　B5判・616頁・定価18900円　古典作品のさまざまなことばから日本の文化と心とを読み解く
〒162-8707　新宿区新小川町6-29　☎03-3260-7631・FAX03-3260-0180　http://www.asakura.co.jp(税込)

山川出版社 http://www.yamakawa.co.jp/
口語訳 即興詩人　画家 安野光雅が書き下ろした、初の全文口語訳　安野光雅＝著　原作＝アンデルセン　文語訳＝森鷗外　四六判　608頁　1995円
宗教の世界史　アンデルセン最初の長編小説で、イタリア各地を舞台とした『即興詩人』。明治以来森鷗外の美しい文語訳で親しまれてきた19世紀の恋と青春の物語が、鮮やかに蘇る。
［11］イスラームの歴史　イスラームの創始と展開　佐藤次高 編
［12］イスラームの歴史 2　イスラームの拡大と変容　小杉泰 編
生活に息づく信仰に踏み込み、聖と俗の視点から歴史のなかの宗教を考える。
東京都千代田区内神田1丁目13-13　〒101-0047　☎03(3293)8131　税込

東京大学出版会
◎〈知〉の統合による地球環境と人類社会の持続可能性への挑戦――待望のシリーズ［全5巻］
サステイナビリティ学　小宮山宏・武内和彦・住明正・花木啓祐・三村信男編／各2520円［内容見本呈］
［1］サステイナビリティ学の創生　イノベーションを創出する新しくダイナミックな学術体系の考え方と方法を詳述。
［既刊］［2］気候変動と低炭素社会　［3］資源利用と循環型社会　［4］生態系と自然共生社会
◎毎日新聞（12・12）田中優子氏評はじめ二〇一〇年の話題の一冊として反響多数！
日本政治思想史　十七～十九世紀　渡辺浩　3780円
「御威光」の支配から文明開化までの歴史を、斬新かつ壮大なスケールで描き出す。
〒113-8654 文京区本郷7-3-1東大構内　TEL03-3811-8814　FAX03-3812-6958　http://www.utp.or.jp/［価格税込］

有斐閣 http://www.yuhikaku.co.jp/
注釈刑法 第1巻 総論　西田典之・山口厚・佐伯仁志編集　第一線の執筆陣による、信頼の注釈書。　A5判　●九四五〇円
逐条解説刑事収容施設法　林眞琴・北村篤・名取俊也著　監獄法、100年振りの全面改正。　A5判　●九四五〇円
条約改正史　―法権回復への展望とナショナリズム　五百旗頭薫著　明治日本の威信を賭けた、条約改正交渉のドラマ。　A5判　●四二〇〇円
地方消費税の経済学　持田信樹・堀場勇夫・望月正光著　地方財源の充実に向けた最重要課題を検討。　A5判　●三六七五円
〒101-0051千代田区神田神保町2-17　TEL03(3265)6811〔表示価格は税込〕

「今日のサンヤツ」公開中！http://book.asahi.com/sanyatsu/ 本欄の書籍をウェブでチェック！